

スーパーマーケット販売統計調査資料

2016年8月実績 速報版(パネル270)

7月実績 確報版(パネル270)

(2016年9月21日公表)

調査資料概要

【パネル270社集計】

食品を中心に扱うスーパーマーケットを対象に同一企業を集計

※2016年4月実績よりパネル対象企業変更(275社→270社)

【集計項目】

商品分類別・エリア別・保有店舗別集計

集計企業数、総店舗数、総売場面積、店舗平均月商、売場1m²あたり売上高

【速報版・確報版】

速報版:毎月21日前後に前月販売実績を速報値として公表

確報版:速報値に精度の高い集計を行い確報値として公表

【全店・既存店】

全店:前年同月全営業店舗と当月全営業店舗の比較

既存店:前年同月、当月共に営業の店舗による比較

【商品分類】

総売上高	食品合計	生鮮3部門	青果	野菜類、果実類、花
			水産	魚介類、塩干物
			畜産	食肉類、肉加工品
		惣菜	惣菜、折詰料理、揚物、弁当、おにぎり、寿司、インスタアベーカーリー、ファーストフード	
	日配	豆腐、こんにゃく、納豆、練製品、佃煮、漬物、パン、卵、乳製品、生菓子、冷凍食品、アイスクリーム		
	一般食品	調味料、瓶缶詰、乾物、米、小麦粉、乾麺、嗜好品、菓子、酒類		
	非食品	日用雑貨品、医薬・化粧品、家具インテリア、家電製品、婦人衣料、紳士衣料、文具、玩具		
その他	テナント売上高、タバコ・ギフト販売、その他取次業(DPE、クリーニング、宅配便、レンタル、チケット販売等)			

【地方分類】

北海道・東北地方	北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島
関東地方	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川
中部地方	新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知
近畿地方	三重、滋賀、奈良、和歌山、京都、大阪、兵庫
中国・四国地方	岡山、広島、鳥取、島根、山口、香川、徳島、愛媛、高知
九州・沖縄地方	福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄

※2014年4月実績よりエリア区分を8地方区分による6地方に変更

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会

オール日本スーパーマーケット協会

一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査に関するお問い合わせ

tokei@super.or.jp

2016年9月21日

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査
 2016年8月実績 速報版 (新パネル270)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	91,820,228	100.0%	100.7%	98.3%
食品合計	82,219,165	89.5%	101.2%	98.5%
生鮮3部門合計	30,515,715	33.2%	99.8%	97.1%
青果	12,772,584	13.9%	99.8%	97.2%
水産	7,948,982	8.7%	99.0%	96.3%
畜産	9,794,148	10.7%	100.5%	97.6%
惣菜	9,443,755	10.3%	101.7%	98.8%
日配	17,627,256	19.2%	102.7%	100.0%
一般食品	24,632,439	26.8%	101.6%	99.2%
非食品	7,070,961	7.7%	97.9%	97.3%
その他	2,530,153	2.8%	94.5%	94.1%

地方分類別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北地方	13,246,717	43	100.3%	98.1%
関東地方	32,632,190	73	100.3%	98.1%
中部地方	11,502,825	53	101.7%	97.0%
近畿地方	19,887,728	44	100.2%	98.9%
中国・四国地方	9,576,295	34	103.2%	98.5%
九州・沖縄地方	4,974,473	23	101.2%	99.6%

保有店舗数別集計

保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	818,315	47	95.3%	95.3%
4~10店舗	3,873,808	68	97.0%	97.3%
11~25店舗	10,739,106	66	98.0%	96.9%
26~50店舗	17,529,938	46	100.7%	98.0%
51店舗以上	58,859,061	43	101.5%	98.8%

集計企業数 (社)	270	既存店総売上高 (万円)	89,101,335
総店舗数 (店舗)	7,709	店舗平均月商 (万円)	11,911
総売場面積 (㎡)	12,685,678	売場1㎡あたり売上高 (万円)	7.2

※売上高は税抜金額

※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

2016年9月21日

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
 オール日本スーパーマーケット協会
 一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

スーパーマーケット販売統計調査
 2016年7月実績 確報版 (新パネル270)

	全店売上高 (万円)	構成比	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
総売上高	88,931,054	100.0%	103.7%	101.4%
食品合計	79,443,892	89.3%	104.1%	101.5%
生鮮3部門合計	29,372,330	33.0%	103.5%	100.9%
青果	11,870,332	13.3%	104.3%	101.8%
水産	8,024,943	9.0%	102.4%	99.8%
畜産	9,477,055	10.7%	103.5%	100.7%
惣菜	8,904,441	10.0%	105.3%	102.5%
日配	17,195,980	19.3%	104.4%	101.8%
一般食品	23,971,141	27.0%	104.1%	101.8%
非食品	6,979,737	7.8%	101.8%	101.6%
その他	2,507,475	2.8%	97.5%	97.5%

地方分類別集計

エリア	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
北海道・東北地方	12,340,685	43	103.5%	101.6%
関東地方	32,811,105	73	103.9%	101.7%
中部地方	10,906,845	53	105.2%	100.5%
近畿地方	19,076,351	44	101.9%	100.9%
中国・四国地方	9,073,339	34	106.3%	101.9%
九州・沖縄地方	4,722,729	23	104.0%	103.0%

保有店舗数別集計

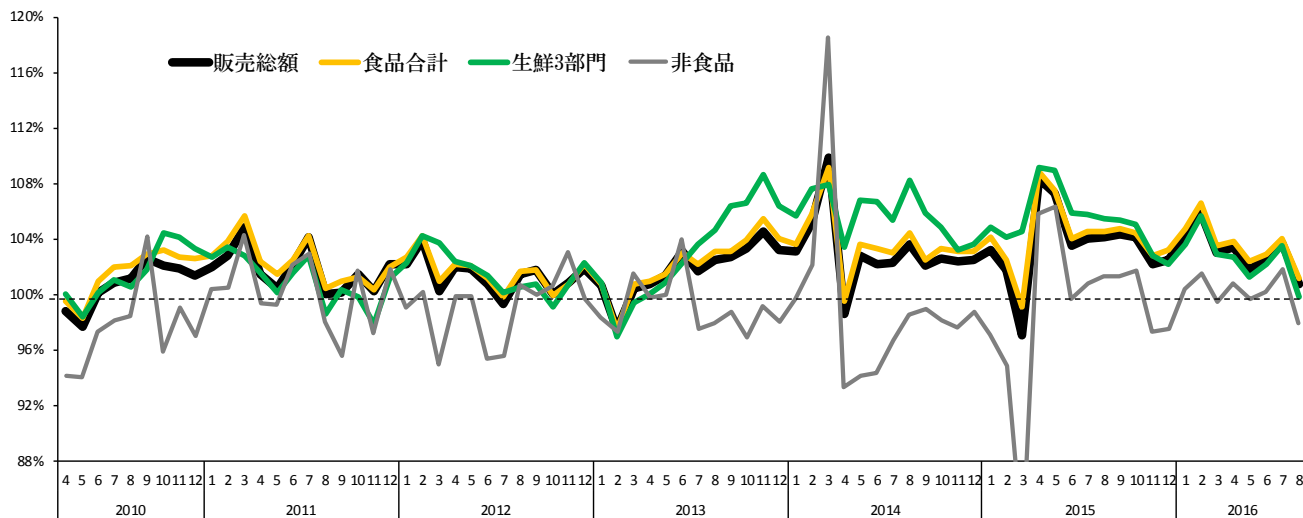
保有店舗数	全店売上高 (万円)	集計対象企業数	前年同月比 (全店)	前年同月比 (既存店)
1~3店舗	785,493	47	99.6%	99.6%
4~10店舗	3,721,126	68	100.7%	100.5%
11~25店舗	10,397,214	66	102.1%	100.5%
26~50店舗	16,811,818	46	103.9%	101.4%
51店舗以上	57,215,403	43	104.2%	101.7%
集計企業数 (社)	270	既存店総売上高 (万円)	86,140,766	
総店舗数 (店舗)	7,713	店舗平均月商 (万円)	11,530	
総売場面積 (㎡)	12,675,210	売場1㎡あたり売上高 (万円)	7.0	

※売上高は税抜金額

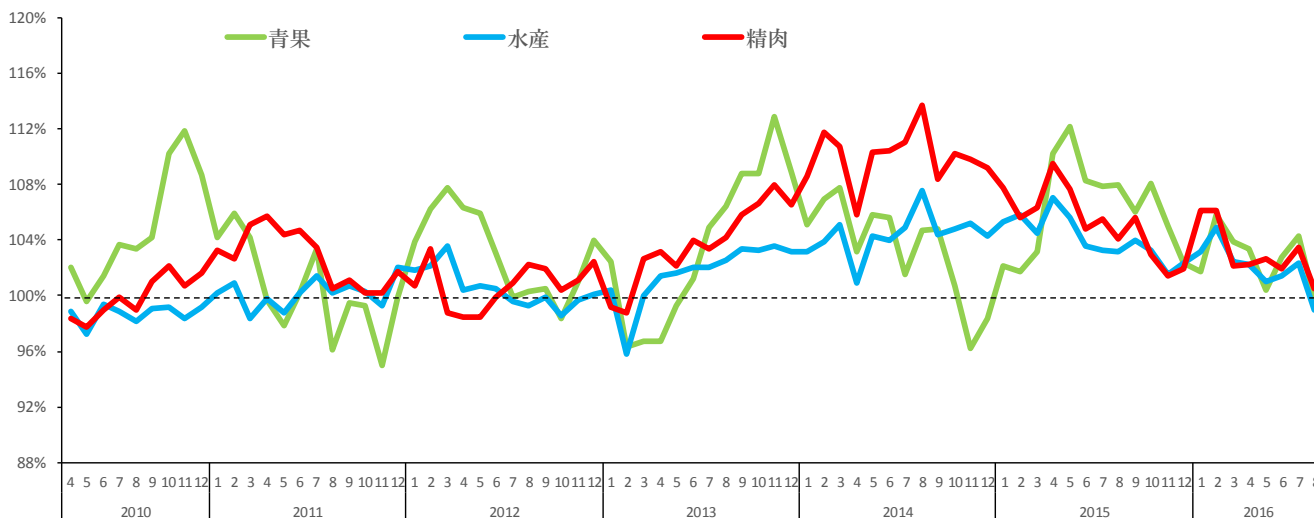
※売上高は千円以下、構成比・前年同月比は小数点第2位以下四捨五入

スーパーマーケット販売統計推移 2010年4月～2016年8月(前年同月比/全店ベース)

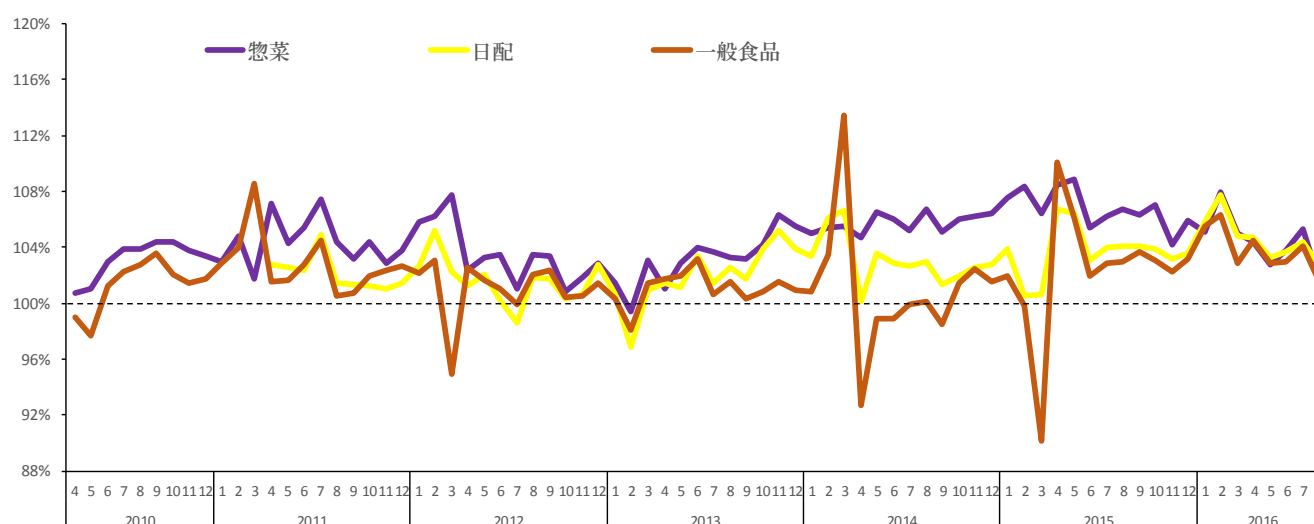
販売総額・食品合計・生鮮3部門・非食品



青果・水産・畜産



惣菜・日配・一般食品



※2010年4月～2016年7月までは確報版による前年同月比、2016年8月は速報版による前年同月比
 ※2011年3月までは、「一般食品」に「日配」、「非食品」に「その他」を含む

2016年8月エリア別気候状況

1. 平均気温：全国的に高温となり、特に沖縄・奄美では顕著な高温となった

上旬：全国的に高かった。

中旬：西日本と沖縄・奄美でかなり高く、北・東日本でも高かった。

下旬：沖縄・奄美でかなり高く、北日本でも高かった。東・西日本では平年並だった。

2015年8月との比較：全国的に中旬以降はかなり気温が高くなった

	平年との比較 (°C)						今年と前年との差 (°C)		
	2016年8月			2015年8月 (前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	2.0	1.8	1.7	1.6	-0.2	-1.5	0.4	2.0	3.2
東北地方	1.8	0.7	0.9	2.5	-0.1	-2.5	-0.7	0.8	3.4
関東甲信地方	1.3	0.4	0.0	2.2	0.5	-2.3	-0.9	-0.1	2.3
北陸地方	0.4	0.5	0.3	1.5	-0.9	-1.4	-1.1	1.4	1.7
東海地方	1.3	0.8	0.5	2.2	0.2	-1.1	-0.9	0.6	1.6
近畿地方	1.0	1.0	0.3	1.8	-0.9	-1.0	-0.8	1.9	1.3
中国地方	0.8	1.0	-0.2	1.2	-1.4	-1.8	-0.4	2.4	1.6
四国地方	1.0	1.7	0.7	1.3	-0.8	-0.9	-0.3	2.5	1.6
九州北部	1.3	2.1	0.3	1.0	-1.0	-1.8	0.3	3.1	2.1
九州南部・奄美地方	0.5	1.6	0.7	0.5	-0.4	-0.9	0.0	2.0	1.6



2. 日照時間：北日本日本海側と西日本では顕著な多照となった

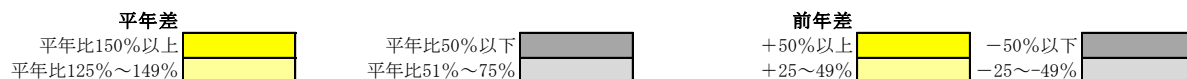
上旬：北日本日本海側でかなり多く、北・東日本太平洋側、東日本日本海側と西日本で多かった。

中旬：西日本でかなり多く、北日本と東日本日本海側でも多かった。東日本太平洋側と沖縄・奄美では平年並だった。

下旬：、北日本日本海側、西日本と沖縄・奄美で多かった一方、北・東日本太平洋側で少なかった。

2015年8月との比較：全国的に中旬以降はかなり日照時間が多くなった

	日照時間 平年比 (%)						今年と前年との差 (%)		
	2016年8月			2015年8月 (前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	144	113	103	100	80	107	44	33	-4
東北地方	136	133	101	144	73	32	-8	60	69
関東甲信地方	124	85	80	151	70	34	-27	15	46
北陸地方	134	118	99	159	60	56	-25	58	43
東海地方	143	102	99	138	77	57	5	25	42
近畿地方	138	126	103	139	66	75	-1	60	28
中国地方	137	137	96	146	62	73	-9	75	23
四国地方	130	144	115	141	69	72	-11	75	43
九州北部	130	159	119	149	75	60	-19	84	59
九州南部・奄美地方	101	152	118	142	79	72	-41	73	46



3. 降水量：北日本では顕著な多雨となった

上旬：沖縄・奄美で多く、西日本では少なかった。北・東日本では平年並だった。

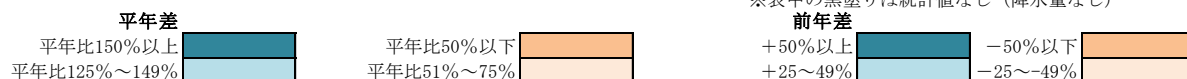
中旬：北日本でかなり多く、東日本太平洋側でも多かった。西日本日本海側と西日本太平洋側では少なかった。

下旬：北日本と東日本太平洋側でかなり多く、東日本日本海側と西日本でも多かった。沖縄・奄美では少なかった。

2015年8月との比較：中旬以降、北日本では降水量が多く、東日本ではかなり少ない地域が多かった

	降水量 平年比 (%)						今年と前年との差 (%)		
	2016年8月			2015年8月 (前年)			上旬	中旬	下旬
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬			
北海道地方	93	332	214	84	116	9	9	216	205
東北地方	56	260	242	18	161	83	38	99	159
関東甲信地方	105	149	279	19	150	133	86	-1	146
北陸地方	42	66	165		93	120		-27	45
東海地方	42	39	172	7	227	256	35	-188	-84
近畿地方	8	53	237	12	272	135	-4	-219	102
中国地方	9	83	238	2	208	204	7	-125	34
四国地方	22	26	128	5	202	192	17	-176	-64
九州北部	31	17	91	6	214	240	25	-197	-149
九州南部・奄美地方	72	4	40	8	107	285	64	-103	-245

※表中の黒塗りは統計値なし(降水量なし)



気象庁ホームページ・報道発表資料「8月の気候」参照

平年値は過去30年(1981年~2010年)の平均

スーパーマーケット統計事務局作成

スーパーマーケット景気動向調査

2016年9月調査結果（8月実績）
（2016年9月21日公表）

スーパーマーケット中核店舗を対象として経営動向や景気判断を調査し、月次でスーパーマーケット経営を取り巻く内外の環境変化を定量的に明らかにすることを目的としています。またスーパーマーケット販売統計調査における売上変動の要因やカテゴリー別好不調要因を補足する役割を果たすことも期待しています。

【経営動向調査】

1.経営状況：「売上」「収益」「生鮮品仕入原価」「食品仕入原価」「販売価格」「客単価」「来客数」
スーパーマーケット中核店舗における各経営状況について

- ・前年同月と比較し「かなり増加」から「かなり減少」までの5段階で評価
- ・前年同月を100とした当月の値を調査 ※2014年4月実績より

2.カテゴリー動向：「青果」「水産」「畜産」「惣菜」「日配」「一般食品」「非食品」
スーパーマーケット中核店舗における各カテゴリーに販売動向について、

- ・前年同月と比較し「かなり好調」から「かなり不調」までの5段階で評価
- ・各カテゴリーの好不調要因についてのコメント

経営動向調査DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+0.5・やや改善+0.25・変わらない±0・やや悪化-0.25・かなり悪化-0.5

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「0」

【景況感調査】

- 1.景況感：「景気状況」「消費者購買意欲」「店舗周辺の競合状況」「店舗周辺地域の景気」について、
- ・2～3ヵ月前と比較した現状について「かなり改善」から「かなり悪化」まで5段階で評価
 - ・今後2～3ヵ月の見通しについて「かなり改善」から「かなり悪化」までの5段階で評価

景況感DI (Diffusion Index) の算出方法

回答構成比 (%) に以下の点数を乗じてDIを算出

かなり改善+1.0・やや改善+0.75・変わらない+0.5・やや悪化+0.25・かなり悪化+0

※すべて企業が「変わらない」と回答した場合、DIは「50」

一般社団法人 日本スーパーマーケット協会
オール日本スーパーマーケット協会
一般社団法人 新日本スーパーマーケット協会

9月調査（8月実績）結果概況

景気判断DI 現状・見通し判断ともに大幅に悪化、見通し判断DIは38.3まで低下

8月のスーパーマーケット中核店舗における景気判断DI 現状判断は前月から-4.9の40.5、見通し判断も前月から-4.1の38.3と共に大きく悪化をみせた。

経営動向調査は全てのDIが前月から低下した。売上高DIが-17.1（前月比-14.0）、収益DIは-13.2（前月比-9.7）と二桁のマイナスまで低下をみせた。土日が一日少なく、加えて台風による影響を受けた地域もあったため、来客数DIが-15.2（前月比-8.2）と大きく低下し、加えて販売価格DIが2013年6月以来のマイナス（-1.2）を記録したことで、客単価DIが-3.5と低下したことが影響している。

カテゴリー動向結果では、前月から一転してすべてのDIがマイナスとなった。猛暑による夏物・涼味関連商材の好調はみられたものの、来客数の減少に加え、一部では地域振興券の反動もみられたため、総じて不調となった。（カテゴリー動向については最終ページに詳細を掲載）

景況感調査は現状・見通し共にすべてのDIが悪化をみせており、調査開始以来の最低水準に接近している。なかでも景気判断DIや消費購買意欲DIの低下幅が大きく、見通し判断DIは30台を記録するなど低迷している。2015年の秋頃から弱含みな傾向が続いており、いまだ下げ止まりはみられていない。（周辺地域景気動向DI長期傾向参照）

特に食品スーパーは、曜日めぐりや天候要因など外部要因に大きな影響を受けるため、共に逆風であった8月は各DIが大幅な低下をみせた。懸念されるのは、見通し判断の悪化である。これは一時的な影響だけでなく、先行きへの不安の高まりといえ、販売価格の低下や客単価の低下傾向への危機感の表れともいえる。今後も見通し判断DIの動向には注意が必要となる。

景況感調査

現状判断

景気判断DI 当月：40.5 (-4.9) 前月：45.4	消費者購買意欲DI 当月：41.5 (-4.2) 前月：45.7	周辺地域 競合状況DI 当月：40.4 (-1.9) 前月：42.3	店舗周辺地域 景気判断DI 当月：43.0 (-2.5) 前月：45.5
--	---	---	---

見通し判断

景気判断DI 当月：38.3 (-4.1) 前月：42.4	消費者購買意欲DI 当月：39.5 (-4.3) 前月：43.8	周辺地域 競合状況DI 当月：37.9 (-2.1) 前月：40.0	店舗周辺地域 景気判断DI 当月：42.0 (-2.7) 前月：44.7
--	---	---	---

経営動向調査 経営状況

売上高DI 当月：-17.1 (-14.0) 前月：-3.1	客単価DI 当月：-3.5 (-5.7) 前月：2.2	来客数DI 当月：-15.2 (-8.2) 前月：-7.0	
収益DI 当月：-13.2 (-9.7) 前月：-3.5	販売価格DI 当月：-1.2 (-2.6) 前月：1.4	生鮮品仕入原価DI 当月：4.2 (-0.5) 前月：4.7	食品仕入原価DI 当月：1.4 (-3.0) 前月：4.4

カテゴリー動向

青果DI 当月：-13.5 (-17.5) 前月：4.0	水産DI 当月：-16.8 (-12.6) 前月：-4.2	畜産DI 当月：-12.7 (-9.6) 前月：-3.1	
惣菜DI 当月：-5.6 (-13.2) 前月：7.6	日配DI 当月：-5.0 (-8.0) 前月：3.0	一般食品DI 当月：-8.1 (-10.2) 前月：2.1	非食品DI 当月：-11.5 (-7.7) 前月：-3.8

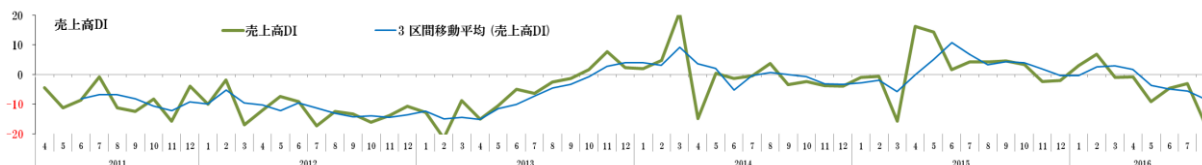
○ 内は前月DIとの増減、赤字はマイナス

9月調査（8月実績）結果詳細 I. 経営動向調査（2011年4月～）

1. 売上高DI

2015年3月以来の二桁マイナスを記録

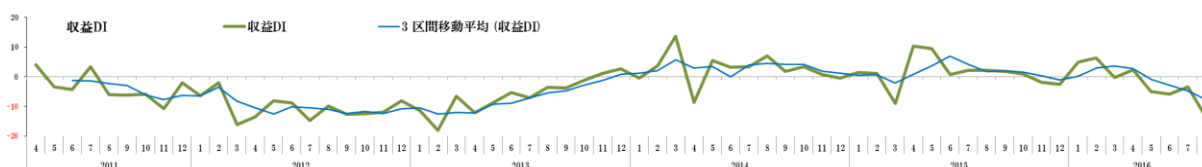
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
売上高（前月）	6.4	30.0	35.5	25.6	2.5	-3.1
売上高（当月）	14.5	52.1	21.2	11.5	0.6	-17.1



2. 収益DI

2013年4月以来の二桁マイナスを記録

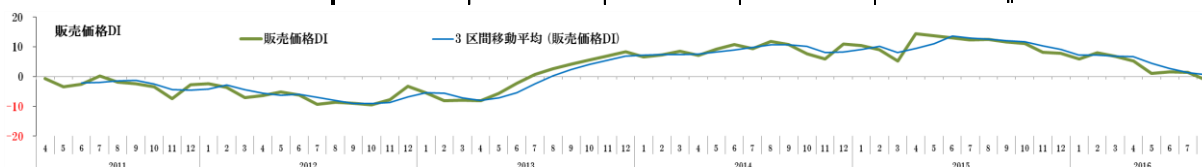
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
収益（前月）	7.0	29.1	39.2	20.1	4.5	-3.5
収益（当月）	11.8	46.0	27.3	13.0	1.9	-13.2



3. 販売価格DI

2013年6月以来のマイナスを記録

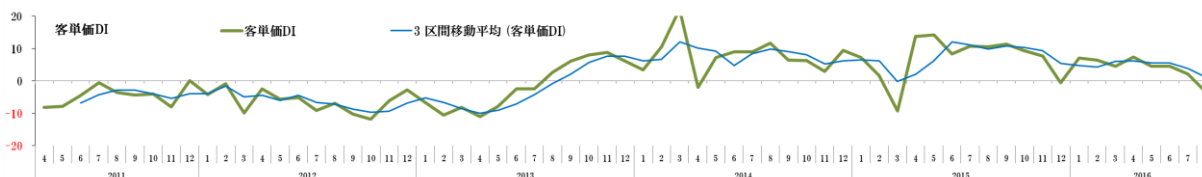
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
販売価格（前月）	0.0	13.4	68.2	17.9	0.5	1.4
販売価格（当月）	0.0	17.3	71.0	11.1	0.6	-1.2



4. 客単価DI

2015年12月以来のマイナスを記録

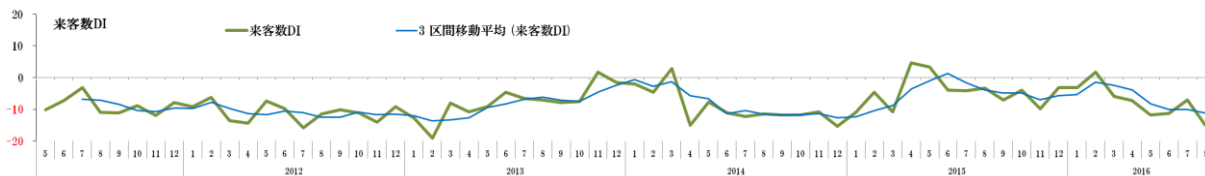
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
客単価（前月）	0.5	21.8	46.0	31.7	0.0	2.2
客単価（当月）	0.0	30.5	53.0	16.5	0.0	-3.5



5. 来客数 DI

当月大きく低下し、再び二桁マイナス

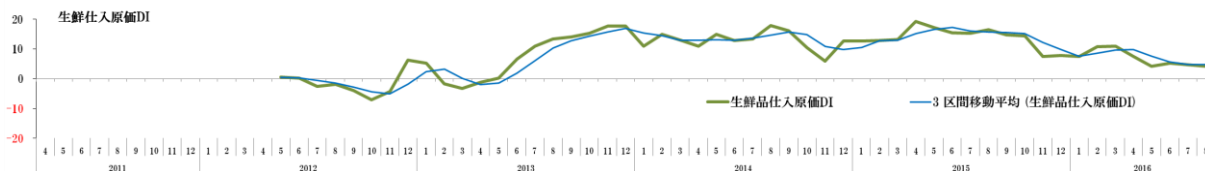
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
来客数 (前月)	4.5	36.5	42.5	15.5	1.0	-7.0
来客数 (当月)	9.1	54.3	25.6	10.4	0.6	-15.2



6. 生鮮仕入原価 DI

プラス圏で横ばいでの推移

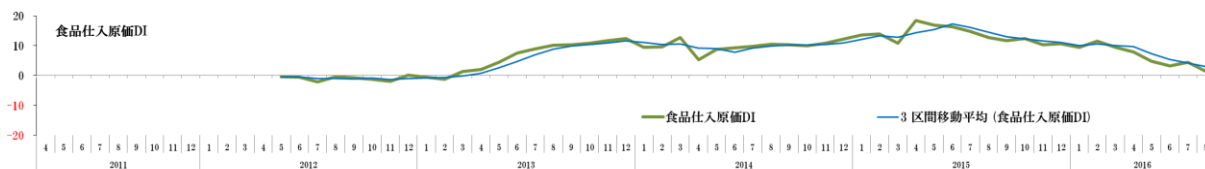
回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
生鮮仕入原価 (前月)	0.5	8.7	64.8	23.5	2.6	4.7
生鮮仕入原価 (当月)	1.9	13.2	53.5	28.9	2.5	4.2



7. 食品仕入原価 DI

下降傾向が継続するもわずかにプラス圏を維持

回答構成比 (%)	かなり減少	やや減少	変わらない	やや増加	かなり増加	DI
食品仕入原価 (前月)	0.5	6.6	69.7	21.2	2.0	4.4
食品仕入原価 (当月)	0.6	9.4	75.0	13.8	1.3	1.4

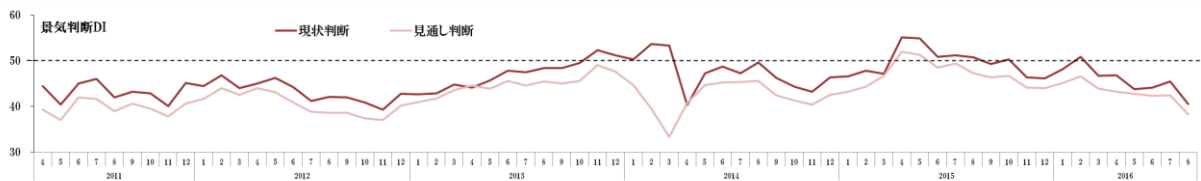


II. 景況感調査 (2011年4月～/周辺地域景気判断のみ2010年4月～)

1. 中核店舗景気判断 DI

現状判断、見通し判断共に大幅に悪化し、過去最低の水準に接近

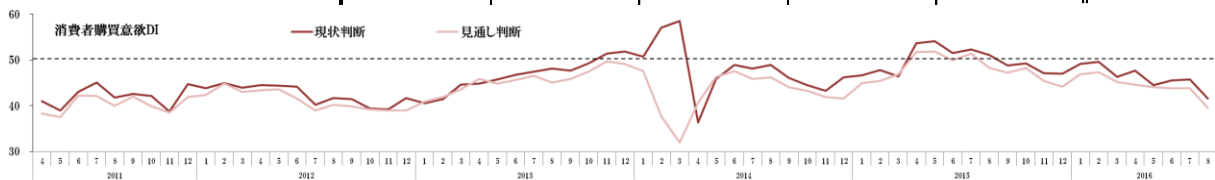
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】景気判断 (前月)	3.0	22.5	64.5	10.0	0.0	45.4
【現状】景気判断 (当月)	3.7	34.8	57.3	4.3	0.0	40.5
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】景気判断 (前月)	3.4	29.6	61.1	5.9	0.0	42.4
【見通し】景気判断 (当月)	4.8	38.2	55.8	1.2	0.0	38.3



2. 消費者購買意欲 DI

現状判断、見通し判断共に大幅に悪化し、過去最低の水準に接近

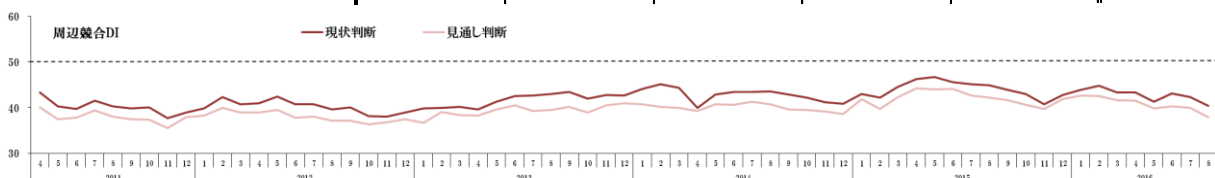
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】購買意欲 (前月)	0.5	22.3	71.3	5.9	0.0	45.7
【現状】購買意欲 (当月)	1.8	36.0	56.7	5.5	0.0	41.5
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】購買意欲 (前月)	0.5	27.1	69.0	3.4	0.0	43.8
【見通し】購買意欲 (当月)	1.8	39.4	57.6	1.2	0.0	39.5



3. 中核店舗周辺競合状況 DI

現状、見通し判断共に悪化

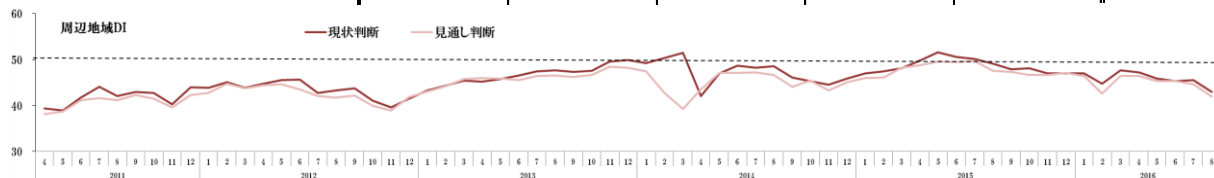
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】競合状況 (前月)	3.5	25.2	70.3	0.5	0.5	42.3
【現状】競合状況 (当月)	3.7	31.7	64.0	0.6	0.0	40.4
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】競合状況 (前月)	4.9	31.5	62.1	1.5	0.0	40.0
【見通し】競合状況 (当月)	7.9	33.3	58.2	0.6	0.0	37.9



4. 中核店舗周辺地域景気判断DI

現状判断、見通し判断共に悪化

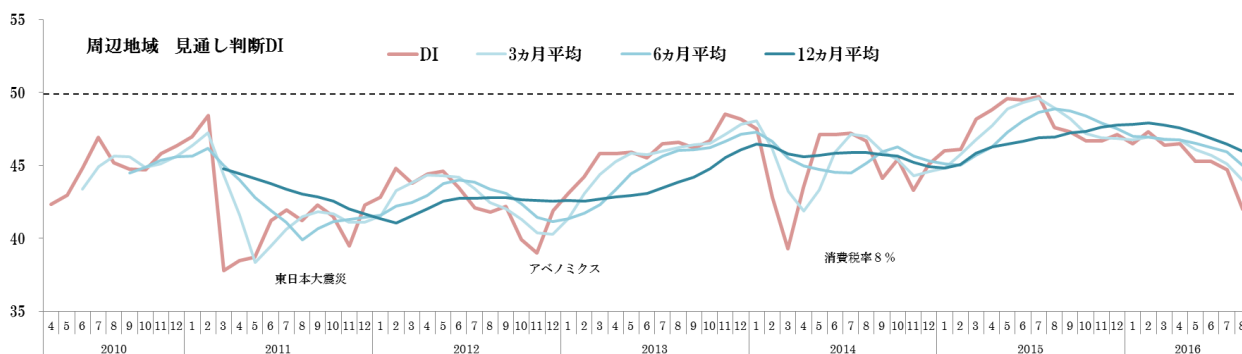
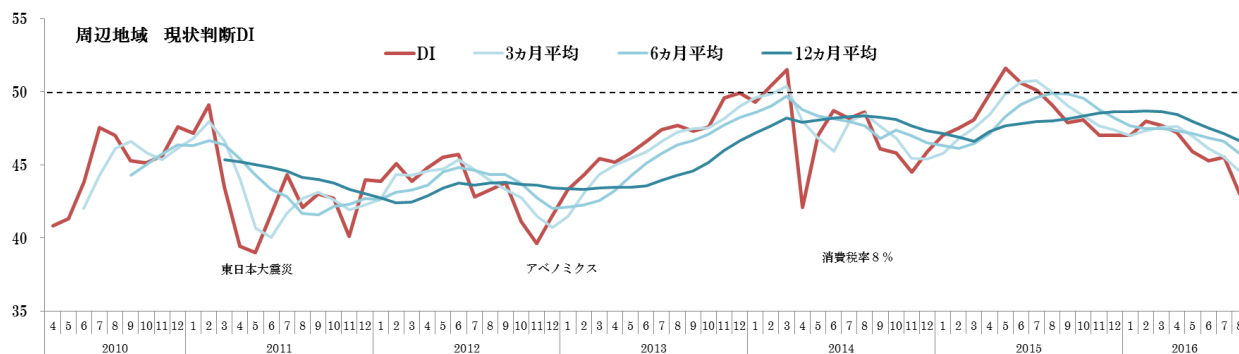
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【現状】地域景気(前月)	0.0	20.4	77.1	2.5	0.0	45.5
【現状】地域景気(当月)	1.2	26.8	70.7	1.2	0.0	43.0
回答構成比 (%)	かなり悪化	やや悪化	変わらない	やや改善	かなり改善	DI
【見通し】地域景気(前月)	0.5	22.4	75.1	2.0	0.0	44.7
【見通し】地域景気(当月)	1.2	30.9	66.7	1.2	0.0	42.0



長期傾向 (2010年4月～)

2012年11月以降上昇を続けていた「中核店舗周辺地域景気判断DI」は、2014年4月の消費税率引き上げの影響を受け下落した。5月に一旦持ち直し、6月～8月まで横ばい推移、9月～11月は再び悪化した。その後、12月以降6ヵ月連続で改善し、2015年5月には調査開始以来の最高水準まで回復をみせた。しかし、6月以降は一転して下落が続き、11月は下落の速度がやや早まった。12月以降はやや持ち直し、底堅く推移していたが、2016年3月と5月も下落をみせ、ダウントレンドが一層鮮明となっている。直近6月、7月は横ばい水準での推移となり、一旦下げ止まりを見せていたが、8月に一転して大きく下落した。

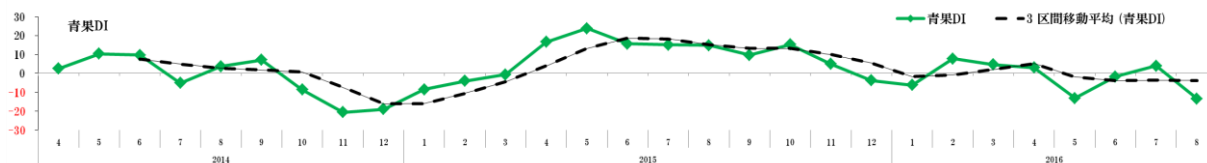
4月に12ヵ月移動平均が、2015年2月以来13ヵ月ぶりにマイナスを記録したが、引き続き、他の平均線もすべてマイナス推移を続けている。



Ⅲ. カテゴリー別動向

1. 青果DI：-13.5（不調）

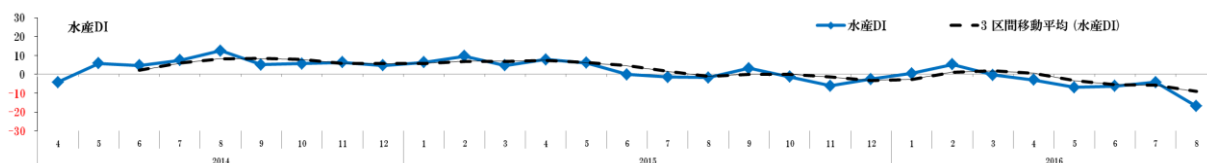
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
青果（前月）	1.1	26.5	34.9	30.7	6.9	4.0
青果（当月）	13.5	44.9	25.6	14.1	1.9	-13.5



葉物野菜が相場安となり単価が大きく下落し、売上低下の要因となった。土日が一日少なく、加えて台風による客数減の影響を受けた地域もあったため、カテゴリー全体では不調となった。玉ねぎは品薄高値で推移した。サラダ用のトマトが好調となった。前月に続いて、気温上昇により、果物類は国産、輸入品とも好調となっており、特にキウイフルーツ、なし、スイカやブドウが好調とのコメントが多くみられた。

2. 水産DI：-16.8（不調）

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
水産（前月）	7.4	32.6	33.2	23.2	3.7	-4.2
水産（当月）	13.5	51.3	25.0	9.6	0.6	-16.8



鮮魚の入荷不足と相場高のほか、土日が一日少なく、加えて台風による客数減の影響を受けた地域もあったため、カテゴリー全体では不調となった。特にサンマは入荷量が少なく高値で不振となった。うなぎは昨年土用二の丑から反動で不調とのコメントが多い。お盆期間の刺身類は好調とのコメントが多くみられたが、気温上昇により伸び悩んだ地域もみられた。

3. 畜産DI：-12.7（不調）

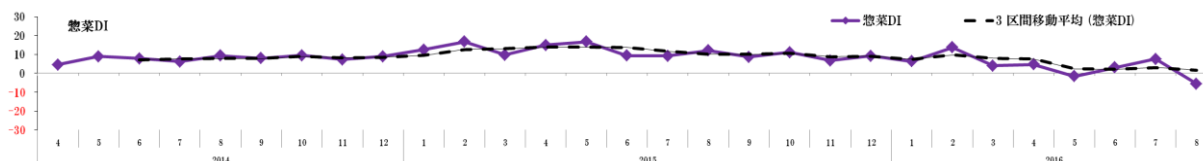
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
畜産（前月）	4.7	34.6	33.5	23.0	4.2	-3.1
畜産（当月）	11.8	42.5	32.0	12.4	1.3	-12.7



相場高が続く和牛を中心に牛肉の販売数量が伸び悩みをみせたほか、土日が一日少なく、加えて台風による客数減の影響を受けた地域もあったため、カテゴリー全体では不調となった。気温が上昇した地域では、焼肉用商材の動きがよかった。鶏肉は価格低下傾向にあるが数量の伸びも低く、加工品の不振も続いている。豚肉は好不調が分かれる結果となった。

4. 惣菜DI：-5.6（やや不調）

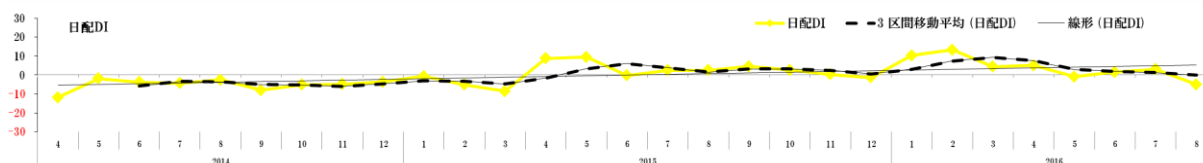
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
惣菜（前月）	4.3	13.3	37.2	38.3	6.9	7.6
惣菜（当月）	6.6	35.5	34.9	19.7	3.3	-5.6



オリンピックや夏休み関連で売上を伸ばした店舗もみられた一方で、土日が一日少なく、加えて台風による客数減の影響を受けた地域もあったため、カテゴリ全体ではやや不調となった。お盆中はオードブルや寿司類が好調であったが、例年より期間が短かったとのコメントが多い。猛暑となった地域では涼味商材が好調となり、家庭調理を敬遠する傾向を追い風に売上を伸ばした店舗があった。新メニューの投入が成果をあげているとのコメントもみられる一方で、人手不足や競合の激しさを指摘もみられた。

5. 日配DI：-5.0（やや不調）

回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
日配（前月）	4.2	19.9	39.8	31.9	4.2	3.0
日配（当月）	6.5	31.0	39.4	22.6	0.6	-5.0



猛暑の影響で、夏物・涼味関連商材（特にアイス）が好調となったが、土日が一日少なく、加えて台風による客数減の影響を受けた地域もあったため、カテゴリ全体ではやや不調となった。引き続き、機能性ヨーグルトや乳酸菌飲料が好調となっており、パンや和日配については不調とするコメントが多くみられた。

6. 一般食品：-8.1（やや不調）

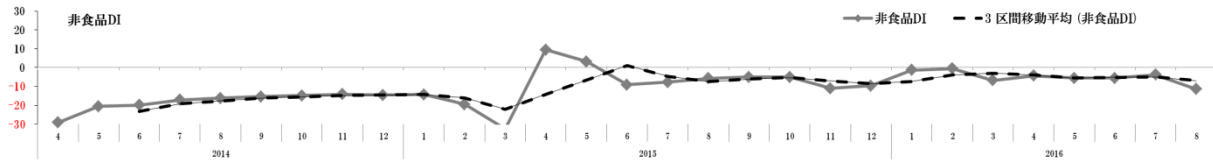
回答構成比 (%)	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
一般食品（前月）	4.3	20.2	43.6	26.6	5.3	2.1
一般食品（当月）	10.4	33.1	37.0	17.5	1.9	-8.1



猛暑の影響で、夏物・涼味関連商材（飲料、乾麺やつゆなど）が好調であったが、土日が一日少なく、加えて台風による客数減の影響を受けた地域もあったため、カテゴリ全体ではやや不調となった。米については前年に比べ単価が上昇しており好調となっている。菓子類は不調、アルコール類は好不調が分かれる結果となった。

7. 非食品DI：-11.5（不調）

回答構成比（％）	かなり不調	やや不調	変わらない	やや好調	かなり好調	DI
非食品（前月）	7.5	29.0	40.9	16.1	6.5	-3.8
非食品（当月）	14.4	32.2	41.1	9.6	2.7	-11.5



洗剤や殺虫剤など一部に動きがよくなっている商品も見られるが、ドラッグストアなど他業態との競合で厳しい状況にある。衣料品やタバコを不調とするコメントが多くみられた。

カテゴリ別DIによる好不調判断

かなり好調：～ 20 好調：20 ～ 10 やや好調：10 ～ 0
 やや不調：0 ～ -10 不調：-10 ～ -20 かなり不調：-20～

2016年9月調査（8月実績）キーワードTOP3

1. 曜日めぐり（昨年より土日が一日ずつ少ない・お盆期間）
2. 天候要因（台風の影響 気温上昇）
3. プレミアム商品券の反動

スーパーマーケット景気動向調査 集計数

8月実績速報版 165社
 7月実績確報版 203社

スーパーマーケット景気動向調査に関するお問い合わせ

スーパーマーケット統計事務局 tokei@super.or.jp